

令和6年度 第2回 健康局監理対象団体監理委員会議事概要

1. 実施日等

	実 施 日	実 施 時 間	審 査 事 項	実 施 場 所
	7月17日(水)	11時00分～11時45分	公益財団法人大阪市救急医療事業団における下記報告書の審査 ・令和5年度事業経営に関する評価に係る報告書(財務運営の実績)	健康局長室

2. 出席者

委員)局長、総務部長、健康推進部長、保健医療企画室長 事務)経理課長
事業)保健医療企画担当課長
団体)理事長、常務理事、総務課長

3. 審査内容

【審査事項】

委員)	物件費に関する目標が未達成となったことについて、どのように考えているか？
団体)	調書にも記載しているとおり、日々の運営において、可能な限りの節減に取り組んでいるが、24時間運営するという特徴や、清掃費などの固定費が多くを占めていることから、節減効果がなかなか現れにくいのが実情。 目標達成には、収入の増減も影響するが、患者数が減ることは、健康という観点では良いことともとらえられるが、経営の観点からは、非常にコントロールが難しいことを感じている。
委員)	医師の出務体制についても見直しているとのことであるが、具体的にどのような対応をとっているのか？
団体)	現時点では、患者数がコロナ前に戻っていない状況にある。そのため、コロナが流行する前の患者受入体制に比べると、半年程度のスパンで関係先も調整しながら、例えば3名出務のところを2名にするなど、出務人数を調整する努力をしている。
委員)	令和6年度の状況についてもお聞きしたい。前年度と比べて患者数はどのような推移であるか。
団体)	令和6年度の患者数を前年同月と比較すると、 4月 前年度より増加、5月 前年度より少し減、6月 同様に少し減95%程度、 7月 三連休前の状況で89% という状況である。
委員)	昨年度に比べて、患者数が伸びていないという状況であると思う。 分析を行うことは大切なので、引き続きしっかりとやってほしい。 経営の面からは、単純に出務を減らしたり、報酬を減らすことだけで解決することは難しいと考えるので、しっかりと対外的に説明できるようにしてほしい。